

平成23年度事業報告

近年、少子化、高度情報化などの社会状況の変化は加速の度を強めており、社会全体の価値観や意識も変化し続けています。その中で、児童虐待、不登校、凶悪な少年事件の発生、ニートの問題、また、インターネットなどにより青少年が被害者になる事件など、青少年に関する課題が山積しています。

そのため、地域で活躍する青少年育成県民運動推進委員、また、各市町村民会議等と協働しながら各種事業を推進してまいりました。

さらに、核家族化の拡大による育児不安を少しでも払拭できるよう幼児期の子育てを支援するとともに、青少年自身を含めた各世代が青少年の健全育成に一丸となって循環型システムの構築に取り組み、そこで育った青少年が地域の様々な催し等に参加し、地域とのつながりを深めながら地域づくりに関わっていくためのリーダー活動を支援してまいりました。

なお、既存事業についても、「少年メッセージ2011」、「家庭の日」関連事業などを更に充実させ、次代を担う青少年をすこやかに育成するため、青少年育成県民運動を積極的に推進しました。

1 「地域の育成力」の強化と推進体制づくり

(1) 地域推進体制強化事業

地域社会の大人の一人ひとりが、青少年の育成に関心を持ち、青少年と交流を深め、青少年を見守り育てていく「地域の育成力」の強化と体制づくりを推進しました。

① 市町村民会議等との連携

各市町村民会議等が抱える課題や問題点に対する共通認識を深め、今後の健全育成の取組について意見交換するため、代表者並びに青少年育成県民運動推進委員との合同会議を開催するとともに、各市町村を訪問し、意見交換や情報収集等を行うことによるネットワークづくりを推進し、協会事業の円滑な推進と育成活動の充実を図りました。

また、各市町村民会議等との連携を更に強化するため、事務局等との担当者会を開催しました。

【市町村民会議等代表者及び青少年育成県民運動推進委員合同会議】

開催日	場所	対象者	参加人数	内容
○和歌山市 平成24年1月25日(水)	和歌山ビッグ愛 (和歌山市)	左記開催日記載 地方の市町村民 会議等の代表 者、青少年育成 県民運動推進委 員及びその事務 局等	15名	◎平成24年度事業計画(案)説明 ◎「出張! 県政おはなし講座」 テーマ: 青少年を取り巻く 現況について : 地域で子どもを育 てよう ◎各市町村の取り組み状況 ◎意見交換 など
○海草地方 平成24年2月 1日(水)	海南市民会館 (海南市)		15名	
○那賀地方 平成24年1月31日(火)	那賀振興局 (岩出市)		21名	
○伊都地方 平成24年1月27日(金)	伊都振興局 (橋本市)		18名	
○有田地方 平成24年2月 6日(水)	有田振興局 (湯浅町)		17名	

○日高地方 平成24年2月 2日(木)	日高振興局 (御坊市)	同 上	24名	同 上
○西牟婁地方 平成24年2月 9日(木)	西牟婁振興局 (田辺市)		13名	
○東牟婁地方 平成24年2月10日(木)	東牟婁振興局 (新宮市)		20名	

② 青少年育成県民運動推進委員の研修会開催

青少年育成県民運動推進委員の資質の向上を図るため、研修会を実施しました。

【青少年育成指導者関係研修会】

期 日	会 場	参加数	内 容
平成23年6月12日(日) ～6月13日(月)	ホテルシーモア (白浜町)	88名	○講演 「子どものネットの利用実態を踏まえた 指導を行うために」 講師：金城学院大学 現代文化部 准教授 長谷川 元洋 氏 ○各市町村民会議の取り組み ○キャッチフレーズの選定 他

③ 青少年育成県民運動推進委員会の運営

各地域で青少年育成県民運動を推進する委員の連携を図るための推進委員会理事会の開催や、委員相互の連携や資質向上を目的とした研修会等を実施しました。

(青少年育成推進委員会連絡協議会理事会)

第1回 平成23年4月20日(水) 和歌山ビッグ愛9階 会議室A

- ◎ 平成22年度事業報告について
- ◎ 平成23年度事業計画(案)について
- ◎ 青少年育成指導者関係研修会の開催について
- ◎ 子ども・若者育成支援県民運動のキャッチフレーズの選定について など

第2回 平成23年10月3日(月) 和歌山ビッグ愛9階 会議室B

- ◎ 平成23年度事業経過報告について
- ◎ 平成23年度子ども・若者育成支援県民大会について など

第3回 平成24年2月28日(火)～29日(水) 勝浦観光ホテル

- ◎ 平成23年度事業経過報告について
- ◎ 平成24年度事業計画(案)について
- ◎ 青少年育成指導者関係研修会の開催について
- ◎ 台風12号による被災地の復興状況の視察 など

④ 地方推進委員連絡協議会事業への助成

県内8地方の推進委員連絡協議会の活動及び青少年育成県民運動推進委員に活動費を助成し、地域における青少年育成県民運動の展開、地域の育成力の強化を図りました。

対 象	補 助 額
青少年育成推進委員会連絡協議会活動事業補助	640千円
各地方青少年育成県民運動推進委員活動補助	335千円

(2) 青少年育成県民運動推進事業

青少年育成県民運動のより一層の推進のため、各種啓発事業を実施し、青少年の健全育成に対する県民の理解が深まるように取り組みました。

① 子ども・若者育成支援県民大会の開催（県共催事業）

11月の「子ども・若者育成支援強調月間」において、家庭・地域・学校・職場・行政等が一体となった青少年育成県民運動の気運の高揚と県民の理解を促すため開催しました。

開 催 日	場 所	内 容
平成23年11月3日(木)	きびドーム (有田川町)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ (社)和歌山県青少年育成協会会長表彰授与 <ul style="list-style-type: none"> ・会長表彰 個人6名、団体：1団体 ・会長感謝状 個人1名 ◎ 「家庭の日」絵画コンクール優秀作品表彰 ◎ 子ども・若者育成支援巡回活動隊への知事メッセージメッセージ伝達 ◎ 高校生フォーラム <ul style="list-style-type: none"> テーマ：「青少年の地域への関わり」 コーディネーター：藤田直子 氏 (海南市立中野上小学校校長) パネリスト：有田地方高校の代表者 ◎ その他

② 「夏の子どもをまもる運動」（7月1日～8月31日）の推進

夏場における青少年の非行防止や犯罪被害防止、水の事故等を防止するため、関係機関等と連携し、街頭啓発や児童に対する水難事故防止教室等を開催しました。

③ 青少年育成アドバイザー会に対する支援

青少年育成アドバイザー会活動を支援しました。

(3) 「少年メッセージ2011」和歌山県大会の開催

今を生きる中学生が何を考え、何を社会に対して訴えたいのか、また、これからどのようなことをしていきたいのかをテーマにした作文を募集し、子ども達が人生や社会について考えるきっかけを提供するとともに、地方予選などを通じて選ばれた18名による発表大会を開催しました。大会を通じ、中学生に対する大人の理解を深めるとともに、中学生の社会参加と意識啓発の促進を図りました。

開催日	会 場	観客数	県内中学生	応募者数	応募率
平成23年7月30日(土)	橋本市教育文化会館 (橋本市)	約350名	30,224名	12,534名	約42%

(県内中学生数は、平成23年度学校基本調査より)

(4) 「少年メッセージ2011」国内研修

青少年自身が様々な自然や文化を体験し、異世代間の交流を図り、多様化する社会に対応できる自立心と社会性を身に付けることを目的に開催しました。

対象者：和歌山県大会発表者及び奨励賞受賞者42名

研修日：平成23年8月3日～5日（2泊3日）

研修内容：滋賀県（琵琶湖環境体験クルーズ）→福井（鯖江青年の家：星空観察）→岐阜（世界遺産：白川郷、飛騨民族村：さるぼぼ作り体験、乗鞍青少年の家：クラフト）

(5) リレー式次世代健全育成事業の実施（県委託事業）

青少年自身が地域の青少年を育成するリレー式次世代健全育成事業を通じて、次代を担う青少年育成の循環システムの構築に取り組み、地域における健全育成の体制づくりと育成力の強化を図りました。

開催場所	開催日		参加数		合計	年間合計
			小学生	中学生		
和歌山市 少年自然の家	前期	8.20(土)～8.22(月)	47	15	62	121
	後期	1.7(土)～1.9(月)	47	12	59	
紀北青少年の家	前期	8.10(水)～8.12(金)	63	28	91	175
	後期	12.9(金)～12.11(日)	61	23	84	
白崎青少年の家	前期	8.16(火)～8.18(木)	45	46	91	154
	後期	12.23(金)～12.25(日)	42	21	63	
潮岬青少年の家	前期	7.26(火)～7.28(木)	23	18	41	81
	後期	12.25(日)～12.27(火)	32	8	40	
合計	前期		178	107	285	531
	後期		182	64	246	
年間合計	前期+後期		360	171	531	

(6) 和歌山県ユースリーダーズクラブパステル運営

リレー式次世代健全育成事業等を通して、資質・能力等を研鑽し、会員相互の交流を深めることを目的とした組織を運営し、次代を担う青少年の育成を図りました。

○ 平成23年1月5日(水)発足 39名(現会員数)

H24.3.31.現在

市町村名	会員数
和歌山市	12名
海南市	4名
紀の川市	4名
岩出市	6名
橋本市	8名
九度山町	2名
印南町	1名
白浜町	1名
串本町	1名
合計	39名

2 青少年活動の推進と居場所づくり

(1) リーダー活動支援事業

リレー式次世代健全育成事業で育成した小学生や中学生が、各地域で活動できるよう支援を行いました。

6団体 452,582円

(2) 青少年団体活動支援事業

青少年団体活動の活性化のため、健全育成活動や集団活動を通じて資質の向上を図っている青少年団体が実施する様々な事業に対し補助金を交付しました。

3団体 800,000円

(3) 市町村民会議等支援事業

市町村民会議等が実施する青少年の健全育成にかかる事業を支援しました。

10団体 830,339円

(4) わかやま青少年パワーアップ支援事業

青少年等が組織力や青少年の資質を更にパワーアップする事業に支援をしました。

6団体 742,552円

(5) 青少年育成情報発信事業

各種の青少年団体や育成協会の情報を様々な媒体で効果的に発信することで、青少年活動への参加や交流のきっかけづくりに取り組みました。

① 機関紙「やまびこ」等の発行

様々な角度から協会事業や各地方での取組等を紹介し、青少年健全育成県民運動への理解や参加を促しました。

② 協会ホームページの運営管理

協会ホームページを充実させ、協会事業をはじめ青少年の育成に関する有益な情報を多くの方に提供しました。

また、一定の要件を満たす青少年団体には、協会ホームページを団体紹介や情報発信の場として提供し、青少年団体のPRなどに貢献しました。

③ メールマガジンの発信

協会会員や希望者を対象に、協会事業のお知らせや青少年の健全育成に関するメールマガジンで発信し、様々な情報を提供しました。

(6) 「家庭の日」運動の推進事業

毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、家族全員が家族のふれあいの大切さなど再認識する機会の提供を各種事業を実施することで、明るい家庭づくりの推進と絆づくりに取り組みました。

① 「家族そろって新入生」啓発リーフレットの作成（共同募金会助成事業）

小学校入学前の子どもを持つ保護者を対象として、家庭での教育やしつけに関することなどを中心に、保護者と子どもを応援するためのリーフレット13,000部を作成し、幼稚園、保育所等を通じて配布しました。

② 家庭の日絵画作品募集事業

家族にまつわる絵画を募集し、作品に表現された「ふれあいとやすらぎ」のある家庭像をもって、家族や家庭の大切さについて改めて県民の理解を得るための啓発活動を行いました。また、優秀11点は、当協会カレンダー及び当協会ホームページ等に掲載しました。

応募総数 383点

賞 ファミリー賞2名 ふれあい賞1名 やすらぎ賞1名 入賞7名

3 協会の体制と財政基盤の充実強化

青少年問題は大人社会の鏡であるという認識のもと、地域の大人一人ひとりが青少年を育成する自覚を持って青少年に模範を示し、地域における人と人とのつながりや地域社会と関わることの大切さを再認識できる地域づくりを推進しました。

また、各市町村民会議や各関係団体と協働して健全育成活動を推進することで、効果的に事業を実施し、青少年育成県民運動に取り組みました。

なお、当協会の設立趣旨に賛同していただける新規会員の加入促進を図り、財政基盤の充実を図るとともに、効率的な事業運営に努めました。

(参 考)

① 通常総会

平成23年6月25日(土) 和歌山ビッグ愛 大ホール

◎ 平成22年度事業報告並びに収支決算報告について

◎ 平成23年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

◎ 役員を選任について

◎ 記念講演

テーマ 「子どもの特性と発達に応じたかかわり・支援のあり方」

講師 和歌山大学 教育学部 教授 米澤 好史 氏

◎ アトラクション

歌手 古家 学 氏 「いのちのうた」

② 理事会

第1回 平成23年5月25日(水) 和歌山ビッグ愛 9階

◎ 平成22年度事業報告(案)及び収支決算(案)について

◎ 平成23年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

◎ 役員を選任について など

第2回 平成23年10月18日(火) 和歌山ビッグ愛 9階

◎ 平成23年度事業経過報告について

◎ 平成23年度子ども・若者育成支援県民大会について

◎ 子ども・若者育成支援県民大会における会長表彰の承認について など

第3回 平成24年3月22日(木) 和歌山ビッグ愛 9階

◎ 平成23年度事業経過報告及び収支補正予算(案)について

◎ 平成24年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

③ 会員数等

新規会員加入の促進を図り、財政基盤の充実に努めましたが、経済情勢を反映し、正会員・賛助会員ともに会費収入が減少しています。

(単位：円、%)

平成	正 会 員			賛 助 会 員	合 計	会 費 収 入		合 計
	個 人	団 体	計			正 会 員	賛 助 会 員	
15	493	149	642	212	854	1,477,000	2,170,000	3,647,000
21	382	122	504	202	706	1,264,000	2,040,000	3,304,000
22	391	122	513	184	697	1,290,000	1,950,000	3,240,000
23	399	116	515	175	690	1,313,000	1,890,000	3,203,000
増減	△ 94	△33	△129	△37	△164	△164,000	△280,000	△444,000
増減 率	△19.1	△22.1	△19.8	△13.2	△19.2	△11.1	△12.9	△12.2

* 会員数は、各年度の3月31日現在

* 会費収入は、各年度の決算

* 増減・増減率は、平成15年と平成23年の比較